

W

求められる人材を探る
プロフェSSIONALS

特殊技術や知識を凝縮した2年間で学ぶ各種専門学校。全国に約2800校、学生数は約60万人に達するという。福岡県内には145校があり各校趣向を凝らし、卒業後、企業やさまざまな機関に貢献できる教育や人材育成に努めている。今回は創立49年の歴史をもつ安達学園グループの1つ、九州観光専門学校 山本義行校長にご協力いただき、新校長としての思いや新たな取り組みなどをお聞きした。

福永 福岡市内にはホテルやウエディングをはじめさまざまな学科を持つ多くの専門学校があります。競合厳しい中、各校ともさまざまな工夫をされ学生の集客や就職活動支援が行なわれています。始めに貴校の概要をお聞かせいただけますでしょうか。

山本 当校は安達学園グループの1つで35年前に開校しました。グループとしては4校29学科があります。当校はホテル、ブライダル、スイーツ & カフェ、鉄道、旅行、エアラインがあり全体的には女性が7割占めています。鉄道学科は運転手や車掌を目指している男子学生が多いのですが、最近は“おしゃれなカフェで働きたい”という学生が増えていることからスイーツ & カフェが人気ですね。専門性を高めるために製菓・製パンとカフェ・調理を目指す者に分かれカリキュラムを組んでいます。ウエディングに関しても専門学校としては人気の科目なのですが、学生たちのイメージと現実が異なることから、残念ながら継続できない卒業生がいるのも事実です。学校側としては卒業後、何年も輝いてほしい、社会の役に立ってほしいという思いで育てていますので、できれば新人に対しては厳しくとも簡単には辞めないようホテルやウエディング施設側でサポートしていただきたいというのが本音です。

元気、笑顔、相手を思いやる 心を大切に日本人の心を 豊かにできる人材育成に注力



(株)フェイス 代表取締役
福永 有利子氏

レストラン・ゲストハウスのウエディングプランナーから現場の管理職としてマネジメントを担い、確実に業績を伸ばしてきた。2003年にウエディングプランナー養成スクール講師をはじめ、06年より大学にて非常勤講師として教壇に立ち、現在も教鞭を執っている。06年堂島ホテル婚礼部長に就任、その後08年同ホテル副総支配人に昇任。09年には(株)フェイスを設立し、代表取締役役に就任。現在は、ホテル・ゲストハウスを主に成約率向上を目的としたトレーニングや集客戦略立案・実践支援などのコンサルティングに加え、ウエディング全般にわたる支援を行なっている。著書「ウエディングプランナーじゃない、アカンのは上司や! 悩める管理職のアメムチ19の育成術」

福永 即戦力としてお客さまの前に出ることにプレッシャーを感じてしまったり、雑務と感じてしまう仕事が多くなったりすることで、思い描いていた世界とはちがってしまうのでしょう。

山本 私は就職をゴールにさせないことが大事だと考えています。専門学校にお子様を託される親の多くは就職させるための対価として授業料を支払われているように思いますが、就職できれば良いというのではなく、さまざまな分野におけるクリエイターになることを目標にすることが



安達学園グループ 九州観光専門学校 校長
山本 義行氏

大学卒業後、損害保険会社、OA機器販売会社を経て、平成元年、長崎プリンスホテル開業準備室メンバーとして総務課配属。人事採用担当、法人セールス、婚礼セールスを経験。平成15年、九州観光専門学校入職。ブライダル学科長時代に九州の専門学校では初めての「本物の結婚式」を授業カリキュラム化。現在通算56組の学生プロデュース結婚式を実施。また全国でも珍しい、一般カップルを集客し、婚礼施設への送客を目的とする「学生が作るブライダルフェア」をカリキュラム化。その後ホテル学科長、就職マネージャー、学務マネージャーを経て平成29年4月、学校長就任。

大切です。鉄道やホテルであれば安心・安全のクリエイター、ウエディングであればまさに幸せのクリエイターです。クリエイターとして新しいものやサービスを提供することでお客さまの心を豊かにし、社会全体の心も豊かになります。とても大切なことであり、そこに自身の存在価値が感じることができ、結果的に仕事への意欲もわきます。

福永 就職後のさらに先のあるべき姿を示唆することはとても大切なことですね。お客さまに限らず仲間や先輩、上司から

“ありがとう”と言われるだけでも自信が持てるようになります。

山本 特に新人は就職したてのときは、あこがれの業界に就職できたことでキラキラ、ワクワク、ドキドキ感が高まっています。現実を理解できなくまだまだ夢見ている新人たちに見合う指導や評価することも難しいと思いますが大切だと思います。皆、自分のいいところを見てほしいと思っています。自分が見られている、評価されているということ。そのためには学校側としても就職がゴールではなく、それぞれの得意な分野でクリエイターになっていくことを目標に掲げ、日常の学校生活から人さまのお役に立つんだという意識向上にも努めていかななくてはなりません。微力ながら学生たちに“おはよー”と大きな声で声をかけています。大きな声であいさつすることで学校の雰囲気も明るくなり、活気もあふれてきます。地道なことですが、まずは先にあいさつをすること。コミュニケーションをとるためにも欠かせないことであることを、私みずからが実践して取り組んでいます。私は元気、笑顔、そして相手を思いやる心を持てる学生を一人でも多く育てていくことが学校として必要なことだと考えています。

福永 山本校長のおっしゃるとおり、コミュニケーションはあいさつから始まります。そのすべてはコミュニケーションからつながっていくからです。

山本 1年生の夏休みのとき、インターンシップとして大人たちとともにホテルで働く機会があります。大人たちの言動に対しての気づきや自分自身がどうすべきかなど考えるようになります。また実際に学生プロデュースで結婚式を行なっていますが、結婚式にかかわることの責任の重さを実感します。まずは相手を理解することの大切さも学びます。相手を知ることによって相手の立場に立った提案もできるようになります。現場を体験することで持っていた世界とのちがいを感ずることもあるで

しょう。またますます就職への思いが強くなる学生もいるでしょう。

福永 業界側もインターンシップ生や新人に手厚く指導するということができず、何をしていいのかわからず、取り残された気持ちになります。心が折れないよう、できるだけ多く接してあげてほしいですね。ところで学校運営として業界が求めている即戦力につながる取り組みをされていますか。

山本 安達学園グループでは高校3年生を対象に入学前授業としてプレスクールを導入しています。目指す業界、仕事に向かって2.5年学べるというものです。当校に入学することを前提としたものですが、希望者全員の業界就職やデビューを実現するために、いち早く学びをスタートする教育サポートシステムです。入学前の特別授業「プレスクール」を無料で受講することができ、早くから業界の基礎を学び、実践的な本物にふれていくことで、目指す業界にグンと近づける制度です。

福永 高校生から目指すべき業界に照準を定めて学べる制度は、学生にとっても、各業界にとっても魅力的ですね。

山本 目指す方向が同じ者が受講しますので、将来のクラスメイトと早く出会い、入学前から仲間づくりができることも、学生や親の不安を解消させる効果もあります。プログラムは全8回で組み上げられています。プログラムの内容も変化がありますので、飽きることなくモチベーションアップを図ることができます。夏のスペシャルプログラムでは学科ごとに実業にみあった講座を準備しておりますので、業界を目指す意識もますます高めることができます。7月下旬に第一回、～翌年2月まで月1回のペースで行ないます。この機会が業界志望が決まっている高校3年生にとって、少しでも働く意識の高揚につながればという願いを込めて行なっています。

福永 ささまざまなことを企画して、取り組



まれていらっしゃるのですね。

山本 “石の上も三年ということわざのある通り、3年業界にかかわることで個々の自信にもつながります。また本当にやりたいことが見つかれば転職する者、ステップアップを目指す者、それぞれの考えで新たな選択をすることができます。また社会人を意識すること、自身の将来をいち早く意識することにより、高校として最後の半年で意識改革もできます。プレスクールで学んだことを日常生活の中で意識づけることにより、よりコミュニケーションが活発になったり、相手を思うことの大切さをまなぶとともに実践することで、人間的にも成長し、多くの方々感謝の言葉をいただけるようになるかもしれません。2.5年学習は決して簡単にできたものではなく、担当教職員が試行錯誤の中、ようやく形として時間をかけて作り上げられてきたものです。一人でも社会に貢献できる人材であり、人々の心を豊かにできる人間を育てていくためにも貴重な時間であり、カリキュラムです。今後も笑顔、元気、相手を思いやる心を大切に活気あふれた学校作りに努めていきます。

福永 学生さんたちの将来を真剣に考え、人としての成長と専門知識を学ばせることで、優秀な人材に育てるという山本校長の思いをお聞きすることができました。これからもより多くの学生を各業界に輩出していただきたいと思います。本日はありがとうございました。